

「Gastrointestinal Pathology and Its Clinical Implications」

Klaus J. Lewin, Robert H. Riddell, Wilfred M. Weinstein 著

東京女子医科大学助教授・消化器内科

長 廻 紘

消化器病、特に診断に携わる者にとって、病理学は、どうして、あるいはどういう時に必要であろうか。総論的には病変の理解を深くする、ということである。それに、診断医はもともと病理形態学が好きであるに決まっている。診断学は形態学の一部であり、形態学は診断学の一部である。例えば内視鏡医にとって、みている所見がどうしてそういう形態、色彩を呈するかに興味をもち、かつ理解しなければ、とうてい長い期間内視鏡医であり続けることは不可能であるし、仮にあり続けるとしても単に世の中に害を流し続けているにすぎない。すなわち形態診断学をやっていくうえでは、常に病理総論、マクロ・ミクロとの対話が必要である。対話をする相手が良いければ良いほど効果的であるし、悪ければどうなるかは言う必要もないであろう。

そういう観点からも、今回、医学書院(New York)より上梓されたLewinらの「Gastrointestinal Pathology and Its Clinical Implications」は臨床家にとって待望久しいモノグラフである。2分冊、全体で1,400頁を越す消化器病理学の成書である。生検材料、外科摘出標本の取り扱いから、消化器病理のあらゆる事項を対象とした意欲的なreference-textである。本書の特色は、①病理学の教科書では一般的だが、専門書ではまれな「総論・各論」の2本立てであり、総論は340頁と全体の約

1/4を占め、それだけで優に1冊の本となる分量であると共に、内容も充実している。②2分冊のうちVol. 1が「総論」と「食道・胃・十二指腸」、Vol. 2が「腸管」より成ることからわかるように、どちらかという腸管の病理にエネルギーが注がれている。③臨床の事項にページが割かれていて、病理を広い意味での臨床の一部とする姿勢がうかがわれる、などである。

総論(diseases with common features throughout the gastrointestinal tract)は、血管病変、放射線障害、免疫不全、リンパ細胞増殖性疾患、内分泌細胞、神経・筋の異常、間葉系腫瘍、および全身性疾患の消化管への影響の7章よりなり、それぞれ異常の臓器特異性にとらわれない、より本質的な変化が理解できるような内容となっていて、類書にみられるような、事実の記載のみからなる無味乾燥さから免れている。例えば、血管異常の大半を占める「消化管の虚血」の項には、pathogenesis and general clinical featuresがあり、虚血というものが消化管に及ぼす影響があらゆる角度から捉えられている。他の章についても同様なことが言える。そして各論の項にはischemic colitisは入っていない。

消化管病理の教科書として本書の最大の特長は、3人の著者の1人に臨床家(Weinstein)が入っている(他の2人は病理学者)ことであり、書名からもうかがわれるように臨床と

の関連が重視されている。

病理学の理解がなぜ臨床家に必要か、病理学のどういうところが臨床に役立つか、逆に臨床家が病理に求めていることは何であるか、などといった問題意識に基づいて全体の記述がなされている。

マクロ(gross pathology)の項には内視鏡所見が重視されており、内視鏡写真も相当使われている。惜しむらくは、よい写真とはいいい難いものが散見されることである。生検の項では、その疾患の生検組織上の特徴を述べるに止まらず、他疾患との鑑別上、どういう所見が重要であるかが、よく書かれている。

使用されているマクロ・ミクロの写真の大部分はカラーであり(約2,100枚)、適宜、内視鏡、X線の写真が添えられていて、理解を助けている。膨大なvolumeから推測されるように、事典として使われることが十分意識されていて、参考文献が多く、最近のものも網羅されているし、indexも充実している。

病理学者のみならず、いやそれ以上に、臨床家が座右に置いて、日常対話するのに恰好の成書といえる。最非、一読をお勧めしたい。

●Published by Igaku-Shoin Medical Publishers, Inc., New York, 1992, two-volume set, 1,488 pages, 2,097 full-color photos, 148 black and white photos, 22 line drawings, ¥54,800

医学書院洋書部(☎03-3817-5670~1)